



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1997～98年度 RIテーマ

国際ロータリークラブ会長 グレン・W・キンロス



ロータリーの心を

あなたの住むところ 私たちの世界 そこに住むすべての人々に

四大奉仕部門すべてを通じて ロータリーの心を示そう

- クラブ奉仕—あなたのクラブに ロータリーの心を
- 職業奉仕—あなたの職業に ロータリーの心を
- 社会奉仕—あなたの地域社会に ロータリーの心を
- 国際奉仕—私たちの世界に ロータリーの心を

第510回 平成10年6月19日(金)

[本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「我等の生業」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. 会 員 卓 話 山 脇 忍 君
8. 点 鐘

次 回 予 告
 * 6月26日(金)
 夜間例会(かぼちゃ)
 全員懇親会

* 7月3日(金)
 7月セレモニー
 新年度方針
 会長 加藤仙之君
 幹事 吉田康一郎君

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30) 第2金 19:00 会 長 徳丸 彰一
 例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 加藤 仙之
 事務局 宮崎郡佐土原町大字下田島20614 幹 事 梶田 與之助
 山脇医院長自宅内 会 計 福井 輝文
 ☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170 会報委員 垂水 敏雄

第509回例会記録

(1998. 6. 12)

☆会長の時間

会長 徳丸 彰一 君

皆さん今晚は、本日は第509回例会です。会報委員長の垂水敏雄君から、体調の都合で7月から2ヶ月ほど休会したいとの予告が事務局にあったそうです。

従って、7月以降の週報の作成については、池田会報副委員長を中心に、皆さんのご協力をお願い申し上げることになると思われますが、どうぞよろしく願います。

佐土原町大字下田島の吉野真由美さん(中央大学大学院4年生、26歳、佐土原みやこタクシー吉野社長の次女)から、ロータリー財団奨学金奨学生査定申請書が当クラブに提出されましたが、これを当クラブの審議を経てロータリー財団事務局へ提出することにご異議はありませんか…。

(出席者全員の賛同が得られました)

会社の組織が300人以下であって、その会社の労働者と同様な業務に準ずる仕事に社長、役員が従事している場合は、業務上の負傷・疾病に対して、当該者にも労災保険の適用が認められますので、あらかじめ同保険に加入することができます。ただし、株主総会とか役員会等の業務についてはもちろん対象外になります。詳しくは社会保険労務士にご相談されるとよいと思います。ご参考までに。

(要旨)

☆幹事報告

梶田 興之助 君

1. 例会変更通知

- *宮崎北RC 6月24日18:00
ホテル フェニックス
- *宮崎中央RC 6月25日18:30
ようらく
- *宮崎南RC 6月29日18:30
ホテル プラザ宮崎
- *宮崎東RC 6月29日18:00
銀寿司
- *宮崎RC 6月30日18:30
宮崎観光ホテル

2. 国際ロータリー世界本部より、98年

- 7月1日から適用相場を1\$=140円に変更する旨の連絡がありましたので、
人頭分担金 1人17\$50¢は円貨で2,450円
ロータリアン誌購読料 1冊6\$は円貨で840円
になります。

なお、ロータリー財団への寄付も同じく1\$当り140円が適用されます。
*お振込みは、必ず本年7月以降に、人頭分担金とロータリアン誌購読料の合計額でご送金ください。

3. 本年度青少年指導者育成研修(RYLA)

- に、(有)梶田種苗店の湯地彰市君が参加し、次のようなレポートの提出がありましたので、ご紹介いたします。
『去る6月7日~8日に、航空自衛隊新田原基地で、西都ロータリークラブ主催により行われた青少年指導者育成研修に参加させて頂きました。開会式の後、基地対策室長による「平和・防衛・国際貢献」という演題の講演があ

り、夕食、入浴を済ませた後、講演の内容についてのグループ討議が行われました。参加者全員を4グループに分け、1グループ6～7名にロータリアン2名が加わり、約1時間程度「平和・防衛・国際貢献」というテーマで討論を交わし、各グループのリーダーが結果をまとめて発表しました。

夜は体育館でレクリエーションが行われ、参加者全員和やかなムードで親睦を深めました。午後11時消灯。

2日目は、西都市在住の著名な画家の弥勒祐徳氏の講演がありました。弥勒氏の、何事にもめげずに抱き続けた絵に対する情熱に、深い感銘を受けました。

その後で、前日と同じグループに分かれて「夢」をテーマにしたグループ討論が行われ、最後に参加者全員が自分の夢についての発表を行い、2日間の青少年指導者育成研修を終えました。

日頃漠然とは感じながらも、深く考えることの少ないテーマについて、同世代の方の意見を聴いたり、自分の考えをまとめて発表する機会を与えて頂き、2日間非常に実り多い研修でした。

☆会長エレクトより

加藤仙之君

1. 5月10日に開催されました地区協議会での配布資料中「1998～99年度地区委員会名簿」の訂正差し替え分が15部送って来ましたので、役員、理事、関係委員長のボックスに入れておきました。
2. 「1998～1999年度佐土原RC理事・役員・委員会名簿」を先週の例会時にお配りしましたが、各委員会

の委員長につきましてもそれぞれご了承いただいたものと私は解釈しております。

実は、山脇初代会長から、早く次年度の各委員会の活動方針・活動計画を取りまとめるようにとのご助言がありまして、遅れ馳せながら、次年度各委員長さんのボックスに現年度の活動方針・活動計画・予算計画のコピーを入れて置きました。

その用紙の下半分に次年度の活動計画・活動方針・予算計画をご記入（現年度を踏襲される場合はその旨付記）されて、6月末までに原案を作成しておいていただきたいと思います。

そして、新年度の7月の例会で逐次提案、説明をお願いしたいと考えます。

それに関連して、会報委員長の垂水敏雄君が、6月末までの週報作成については責任をもって担当しますが、7月～8月は事情により一時欠席させていただきたいとの意向があるようです。

7月以降の週報作成をどうするかという問題になりますが、会長職もいろいろなロータリー文書への対応など何かと多用でありますので、私が引き受けることは到底無理であります。

各委員会で主管、処理できる文書については、例会の卓話で周知・協議していただくとか、効率的な方法を講じたいと思います。よろしく願いいたします。

さて、週報についての皆さんのご意見をお伺いします。

会報委員会のメンバーによる輪番制の週報作成はできないのか、あるいは、週報編集委員を選定して、その編集委員が輪番で週報を作成するような方法はない

ものか、いろいろ考えられますが。

[協議の結果]

- *会長の時間は加藤次期会長が貼り付けの
できる原稿を作成する。
- *幹事報告、出席報告、各委員会報告、
会員卓話、その他発言者は、すべて
原稿を例会終了時に必ず提出する。
(ワープロ、パソコンが使える会員は、
できるだけ貼り付けのできる原稿を作
っていただきたい。)
- *ゲスト卓話については、要旨の原稿を
要請する。
- *7月は当面、会長と桜井事務局員で編
集・印刷に尽力してみたい。

☆ R I 財団委員会より

委員長 濱田 松太郎 君

先きほど徳丸会長からご報告のありま
した、ロータリー財団奨学金申請につい
て、吉野真由美さんの顧問ロータリアン
を当クラブから決めなければなりません
が、徳丸彰一会長にお願いしてはいかが
でしょうか。

(出席者全員の賛同が得られました)

☆ 出席報告

委員長代理 田村 勝二 君

会 員 数	25名
H C 出席者数	19名
欠 席 者 数	6名
出 席 率	76%
メークアップ者数	2名
修正出席率	84%
欠 席 者 名	垂水・藤堂・宮原・林

☆ 中部分区代理より

山 脇 忍 君

本年度のRYLAが西都RCのご協
力で無事に終了することができました。

私の分区代理としての大きな仕事も、
これで終りです。

皆様のご支援に厚く御礼申し上げま
す。

☆ 会報委員会回顧

委員長 垂水 敏雄 君

1987年12月25日の第11回例
会から週報を担当して本年6月で10年
6か月、500回を迎えます。週報の仕
事は、年齢的、肉体的にも10年が限度
であろうと最近を感じるようになり、今
年度をもって会報委員長を辞退させてい
ただこうと決意した次第です。

毎週、週報作成に追われるようにな
ると、ロータリーを楽しむどころか、ロー
タリーが重荷になって来ます。公的、私
的な行事が輻輳した時などは、間際でな
いと週報に着手できず、徹夜をしたこと
も何回かありました。今後このような状
態を是正するためには、一人の会員だけ
に負担を掛けない、合理的な、協力的な
会報組織を確立することが急務であると
考えます。

また、週報の内容の刷新を図る意味で
も、ここらあたりが私の会報委員会から
の引き際であろうと思います。

加藤次期会長をはじめ、新役員、会員
の皆様には大変申し訳ございませんが、
私の勝手な願いをご聴許くださいますよ
うお願い申し上げます。